

# 環境コミュニケーション

マツダは「マツダ地球環境憲章」の下、商品・技術、生産・物流・オフィス、社会貢献の各領域で、さまざまな環境保全に取り組んでいます。各取り組み内容を適切に情報開示するとともにステークホルダーとの対話の機会を設け、社会課題への迅速かつ適切な対応に努めています\*1。

## 環境展示会・イベントへの参加

ステークホルダーの皆さまにマツダの環境への取り組みを理解していただくと同時に、ステークホルダーの皆さまから広くご意見をいただく目的で、環境関連の展示会・イベントへ積極的に参加しています。国内・海外で開催されるモーターショーにおける先進的な環境技術の紹介や各種イベントでのSKYACTIV技術搭載車の試乗など、さまざまな方法で環境コミュニケーションを行っています。

## コミュニケーション活動に伴う環境負荷の低減

マツダはコミュニケーション活動に伴う環境負荷の低減に努めています。

### イベントにおける運営面での環境配慮事例

- ブース装飾におけるリユース・リサイクル
- 配布物削減などによるCO<sub>2</sub>削減の工夫
- イベントを通して排出されるCO<sub>2</sub>を算定しオフセット

### 発行物における環境配慮事例

- FSC認証紙使用・水なし印刷採用・植物油インキ利用など
- 印刷・製本する際に排出されるCO<sub>2</sub>を算定しオフセット

## ウェブサイトや発行物の活用

各ステークホルダーの関心事項や利用媒体などを考慮し、さまざまな方法で環境コミュニケーションを実施しています。

ウェブサイトでは画像やCGを採用して環境技術を分かりやすく説明しています。ソーシャルメディアの活用強化により、タイムリーな情報を発信し寄せられたコメントを日々の事業活動に役立てています。マツダサステナビリティレポートについては、詳細版／ダイジェスト版、PDF／ウェブ／冊子など、ステークホルダーのニーズを考慮した編集方法・媒体で制作しています。回収したアンケートの集計結果やウェブアクセス数を担当役員および社内協力部門にフィードバックし、次年度版の企画立案などに役立てています。

\*1 社会貢献活動として行っているマツダグループの「環境コミュニケーション」については、以下URL参照  
<https://www.mazda.com/ja/csr/social/>

## 社内啓発活動

従業員一人ひとりが環境問題を身近に感じ環境への意識を高められるよう、2019年度は以下をはじめさまざまな取り組みを実施しました。

### 「エコ・ウォーク通勤」制度

環境意識の啓発と健康増進のため、2km以上の徒歩通勤者に通勤手当(1,500円/月)を支給しています。

### 昼休憩時照明半分消灯

昼休憩時にオフィスや工場の照明を半分消灯する運動を継続し、推進しています。

### ライトダウン活動

(企業・施設参加型)

#### ■ マツダライトダウンキャンペーン

環境意識の醸成のため、マツダおよび国内グループ会社で、看板照明や屋内照明のライトダウンを実施しました。

この取り組みは、2011年にマツダの6拠点でのライトダウンから始まり、9回目となる2019年には、国内グループ会社を含む769拠点での取り組みとなりました。2019年6月22日(夏至)と7月7日(七夕)の2日間、20時から22時までの2時間の消灯で、電力量約1万kWh、CO<sub>2</sub>排出量換算で約5トンの削減となりました。

(参加数) マツダ: 15拠点 国内グループ会社: 81社、754拠点

#### ■ WWF主催 アースアワー2020

マツダおよび国内グループ会社でWWF主催の、世界最大の地球温暖化防止キャンペーンであるアースアワー2020に賛同・参加しました。

2020年3月28日の20時半から21時半までの1時間、看板照明や屋内照明のライトダウンを実施しました。

(参加数) マツダ: 16拠点 国内グループ会社: 88社、786拠点

(個人参加型)

#### ■ 従業員によるプライベートでのライトダウン活動

マツダライトダウンキャンペーンに合わせて、マツダおよび国内グループ会社の従業員とその家族や友人によるプライベートでのライトダウン活動を実施しました。2019年6月22日(夏至)と7月7日(七夕)の2日間、20時から22時までの2時間の消灯で、電力量約5,600kWh、CO<sub>2</sub>排出量換算で約3トン(推計値)の削減となりました。

(参加数) 延べ約4万人(マツダの全役員・全本部長を含む)

### 環境月間 環境教育

従業員一人ひとりが「環境について考え、行動すること」を実行するきっかけとして、一般的な環境問題や生物多様性の重要性、マツダの取り組み、職場における環境保全活動に関する教育をISO14001の環境基礎教育として実施しました。

a

a ライトダウン活動の参加企業一覧

1.マツダ(株)	54.マツダオートサム三原
2.(株)函館マツダ	55.マツダオートサム海田
3.(株)東北マツダ	56.マツダオートサム橋本
4.(株)福島マツダ	57.マツダオートサム安古市
5.(株)北関東マツダ	58.マツダオートサム梅林
6.(株)甲信マツダ	59.マツダオートサムいすみ
7.(株)関東マツダ	60.マツダオートサム津山
8.静岡マツダ(株)	61.マツダオートサム袋井
9.東海マツダ販売(株)	62.マツダオートサム深谷、本庄、熊谷
10.(株)北陸マツダ	63.マツダオートサム福知山
11.(株)京滋マツダ	64.マツダオートサム久世
12.(株)関西マツダ	65.マツダオートサム竹原
13.(株)西四国マツダ	66.マツダオートサム矢野
14.(株)九州マツダ	67.マツダオートサム瀬名
15.沖縄マツダ販売(株)	68.東邦工業(株)
16.マツダパーツ(株)	69.西川ゴム工業(株)
17.マツダ中販(株)	70.MCMエネルギーサービス(株)
18.マツダロジスティクス(株)	71.マツダオートサム佐渡
19.倉敷化工(株)	72.マツダオートサム秋父西
20.(株)マツダE&T	73.マツダオートサム船橋北
21.マツダエース(株)	74.マツダオートサムニチドー船橋
22.マツダ部品広島販売(株)	75.マツダオートサム柏の葉キャンパス
23.(株)マツダプロセシング中国	76.マツダオートサム大垣東
24.ヨシワ工業(株)	77.マツダオートサム出雲ひらた
25.トーヨーエイトック(株)	78.マツダオートサム防府中央
26.青森マツダ自動車(株)	79.デルタ工業(株)
27.(株)千葉マツダ	80.洋和工務(株)
28.マツダ小田原(株)	81.(株)すぎはら
29.東京マツダ販売(株)	82.広島精研工業(株)
30.(株)ユノス三昌	83.マツダ部品山口販売
31.(株)神戸マツダ	84.マツダ部品千葉販売
32.(株)奈良マツダ	85.(株)佐賀マツダ
33.(株)岡山マツダ	86.(株)ユノスホリエ
34.(株)鳥取マツダ	87.(株)長崎マツダ
35.(株)広島マツダ	88.マツダオートサムヤマモト
36.(株)アンフィニ広島	あおば
37.(株)南九州マツダ	89.マツダオートサム榎倉、新白河
38.マツダオートサム宮本帯広	90.マツダオートサム小千谷
39.マツダオートサム江別	91.マツダオートサム長岡西
40.マツダオートサム旭川	92.マツダオートサム柏
41.マツダオートサム17	93.マツダオートサムイワセ
42.マツダオートサム前橋中央	94.マツダオートサム内子
43.マツダオートサム砺波	95.(株)サカタマツダ自動車
44.マツダオートサム郡山南	96.マツダオートサム芸備、三次
45.マツダオートサム東	97.マツダオートサム紀北
46.マツダオートサム上田	98.マツダオートサム峡西
47.マツダオートサム綾部	99.マツダオートサム鶴川、館山
48.マツダオートサム葛城	100.マツダオートサム伊予鉄松山
49.マツダオートサム松江	101.マップス(株)
50.マツダオートサム大田	102.広島精密工業(株)
51.マツダオートサム備前	
52.マツダオートサム倉敷中央	
53.マツダオートサム府中	

\* 70~82はマツダライトダウンキャンペーンのみ参加。  
83~102はWWF主催 アースアワー2020のみ参加。